

1

「学校全体配置計画」を策定 田原市小中学校の再編に向けて

Reorganization of School

小 規模校の適正化と津波地震災害への防災対策を図るため、

市教育委員会では、昨年度第1次方針として小中学校の「再編基本方針」を定めました。それに基づき和地小、堀切小、伊良湖小を統合し伊良湖岬小とすることや、伊良湖岬中を統合

することを地元と合意しました。また、野田中の田原中への統合も決定しました。

このたびこうした過程で地域から出された多くの意見を踏まえ、第2次方針として田原市全体の「学校全体配置計画」を策定したものです。

◆小中学校の小規模化の現状

学校の小規模化は深刻です。教育環境へのさまざまな課題が生じることが懸念されています。



●伊良湖岬小となる和地小学校校舎

平成10年度と平成26年度の比較では、小学校では、児童数4874人から3429人へと約30%減少しています。中学校では、2737人から1827人へと約33%も減少しています。

◆児童生徒が少なくなると

この間、各地域の「学校を考える会」では、小規模化に伴い、保護者や学校に次のような心配があることが浮き彫りになりました。

- ・多様な考え方に触れて学び合い、切磋琢磨する機会が少なくなる。
 - ・クラス替えができず、交友関係が固定化されやすい。
 - ・運動会などの学校行事、音楽活動などの集団教育活動や部活動などに制約がある。
 - ・教職員数が少なくなり、教職経験・教科などを踏まえたバランスのとれた教員配置が行いにくい。
- そこで再編の基本方針では、学校の適正規模は学校全体の生徒数120人以上、1学級平均20人以上としています。

学校全体配置計画(概要)

区分	第1期 (H27～H31)	第2期 (H32～H36)
小学校	和地小 堀切小 伊良湖小 六連小 ⇒伊良湖岬小 H27.4.1 ⇒田原東部小(未定)	大草小 ⇒神戸小 田原南部小 ⇒衣笠小 高松小・若戸小 ⇒赤羽根小 亀山小 ⇒中山小 清田小 ⇒福江小
中学校	野田中 ⇒田原中 H28.4.1 伊良湖岬中 ⇒赤羽根中あるいは福江中 泉中 ⇒赤羽根中あるいは福江中	H30

学校全体配置計画図



◆学校全体配置計画の特徴は

今回の学校全体配置計画の特徴は次のとおりです。

- ①小学校20校を11校に、中学校7校を4校に再編し、市内27校を15校とする大きな改革です。
- ②計画期間は平成27年度から平成36年度までの10年間とし、前半5年を第1期、後半5年を第2期として計画的かつ長期的な視野に立つて学校再編を進めていきます。

- ③学校再編にあたっては校区単位を原則に隣接学校への再編を基本とし、当該校区での十分な協議をもとに進めていきます。

- ④学校全体配置計画全般も、広く市民と意見交換を重ね、協働して新しい田原市の教育の充実に努めていきます。

学校全体配置計画や学校再編に関して、詳しくはお問い合わせください。

▼教育企画室 ☎27局8604